

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

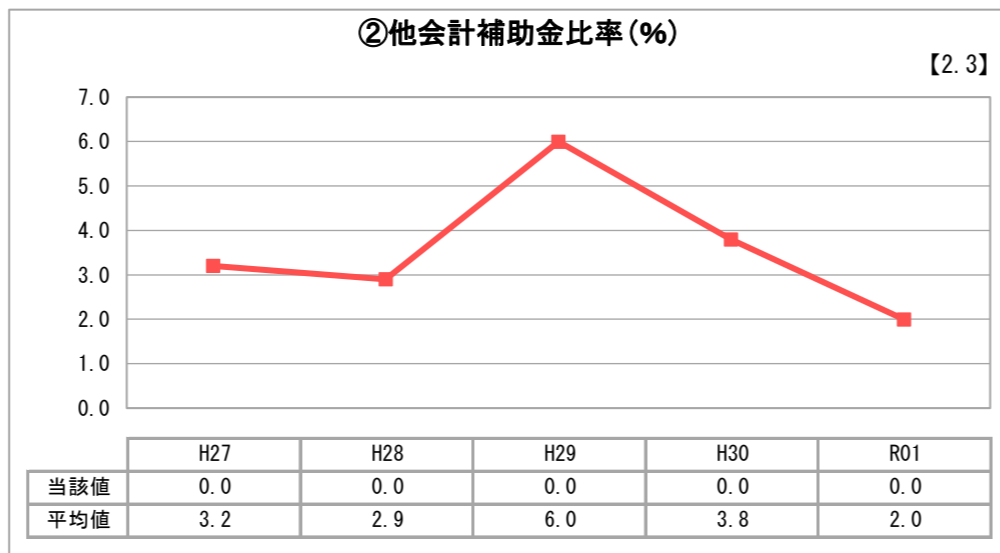
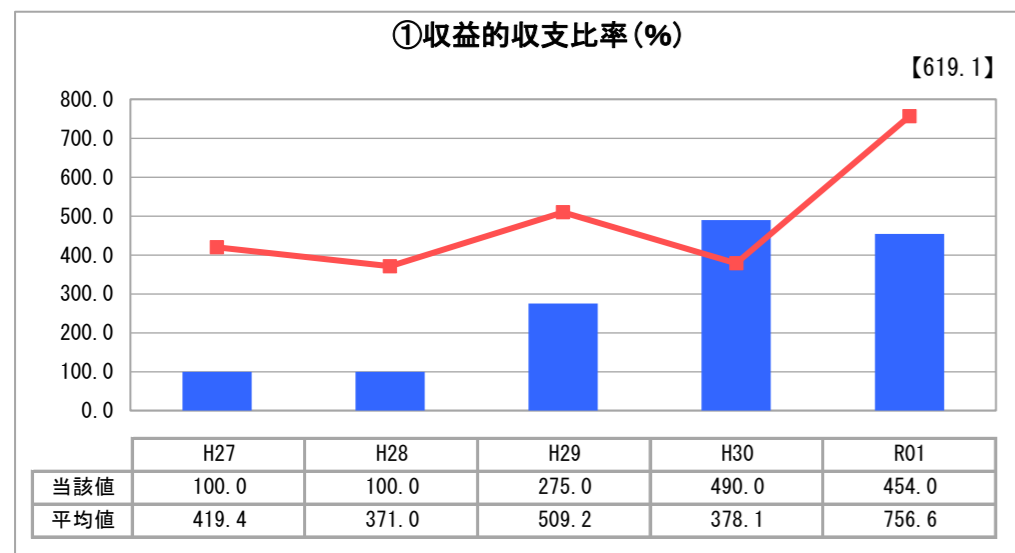
福井県鯖江市 鯖江駅東駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	20	

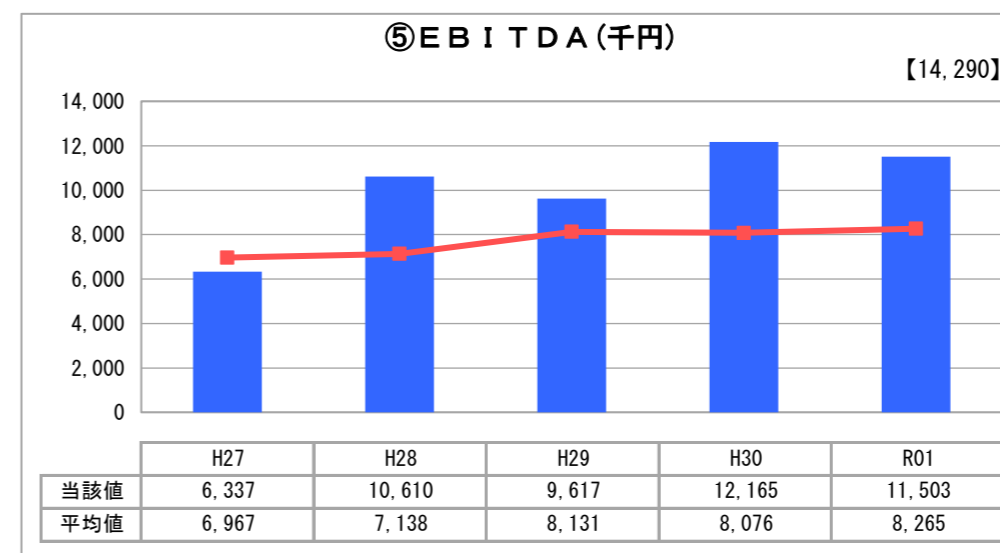
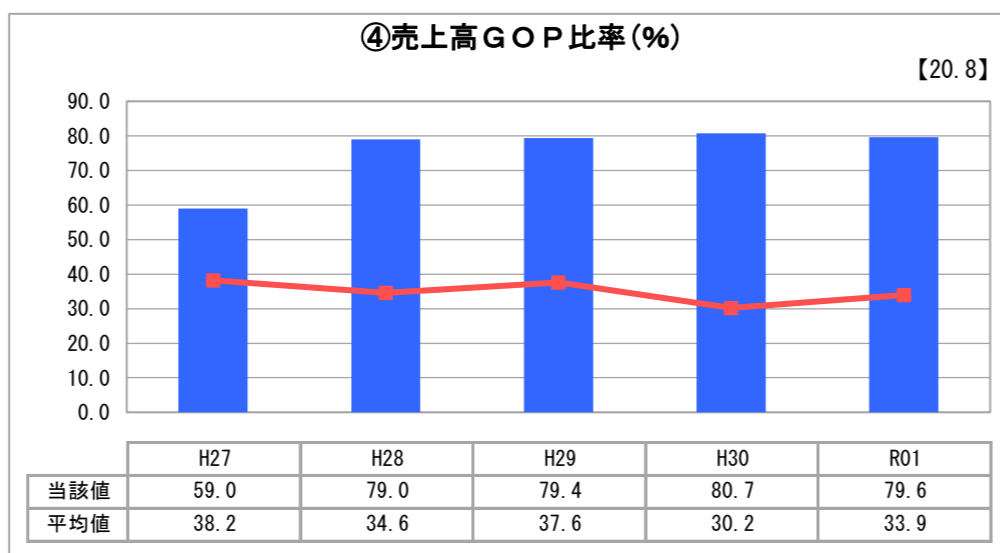
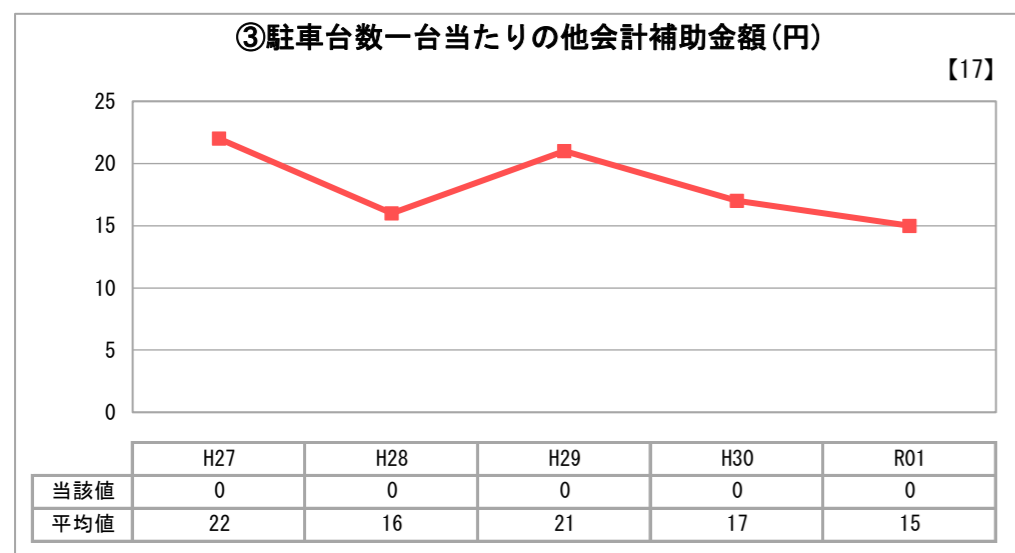
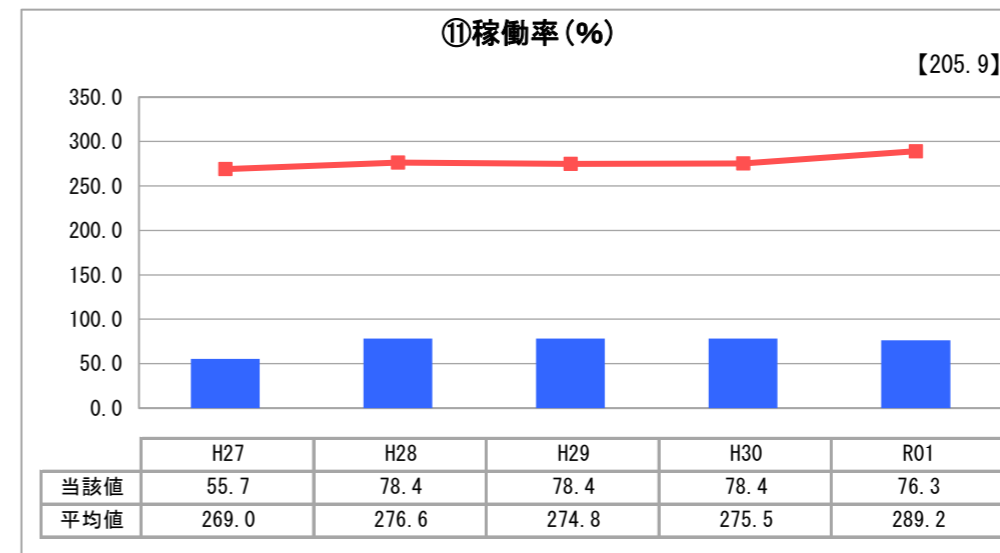
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	2,152
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
97	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
[ ]	令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



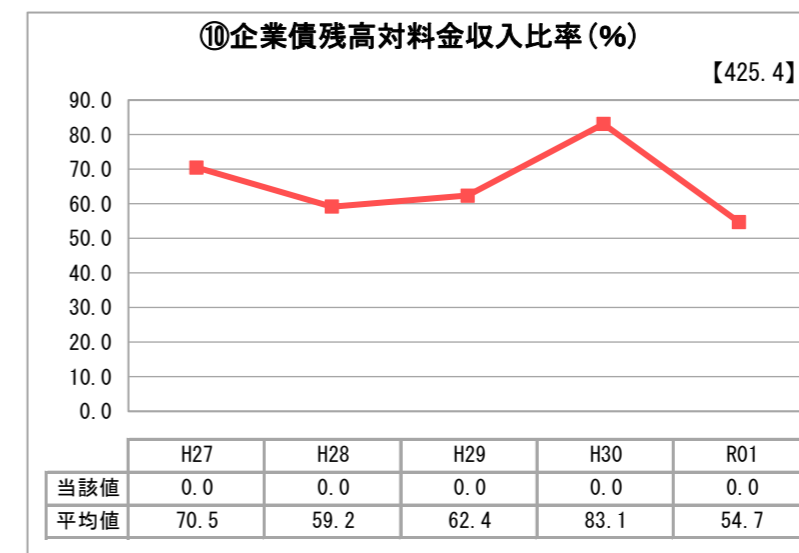
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	26
⑧設備投資見込額(千円)	3,000



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①数値は100%を上回っており、経営は安定している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率（営業利益）は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA（減価償却前営業利益）は類似施設平均値を上回っており、安定した経営を行っている。

2. 資産等の状況について  
 企業債の借入れは行っていない。  
 令和2年度に精算機、発券機、入口表示灯、カーゲートの更新を予定している。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。  
 利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ね、今後も安定した経営が行えるよう努めていく。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅前駐車場

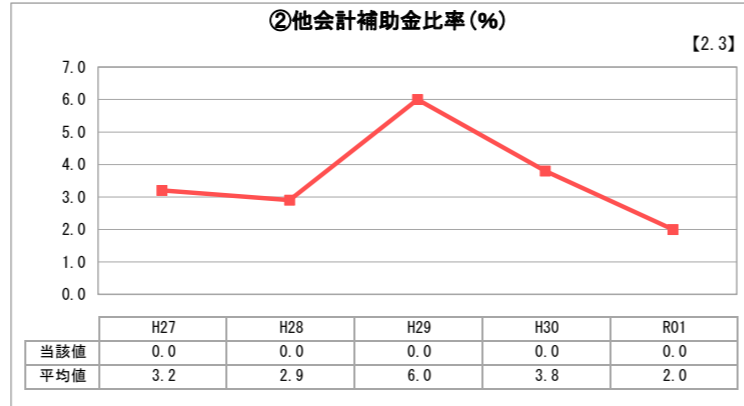
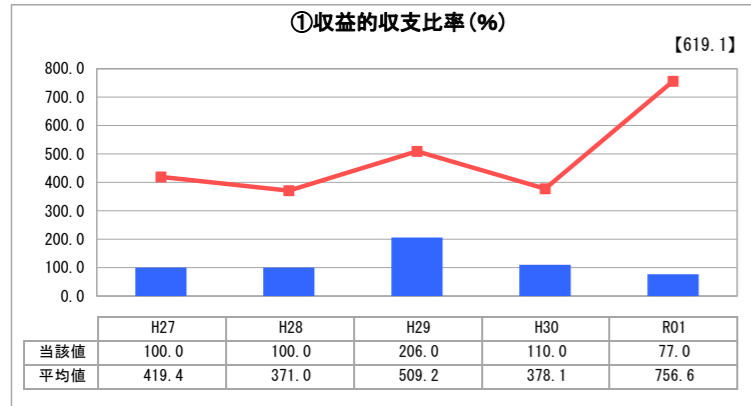
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	32	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	901
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
31	100	導入なし

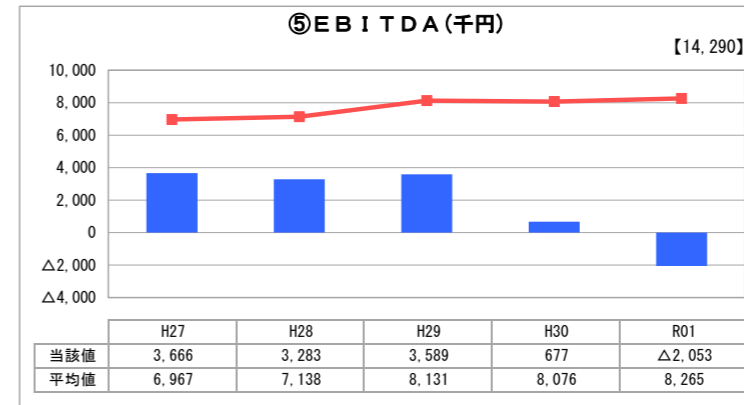
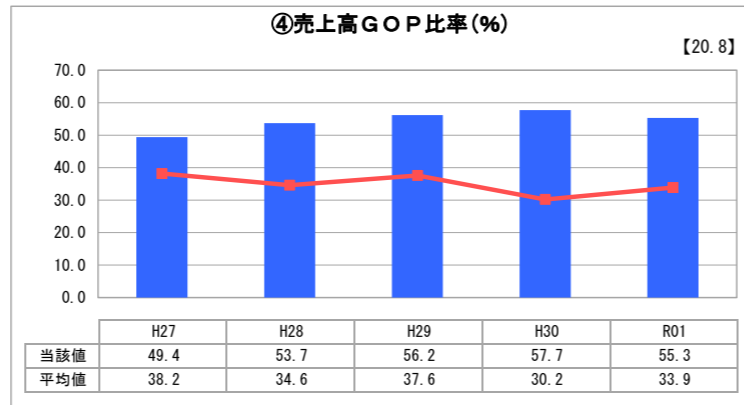
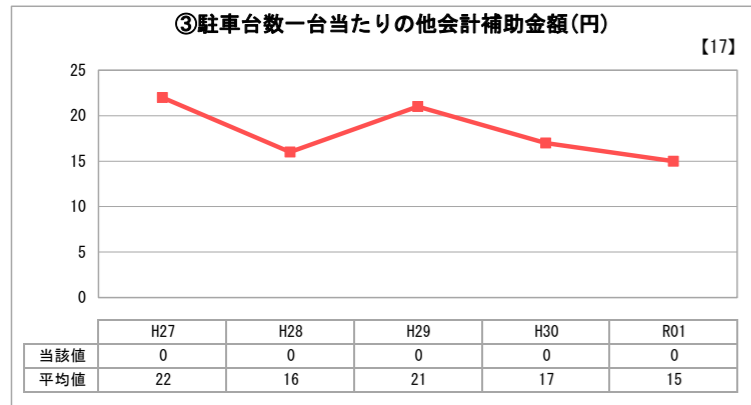
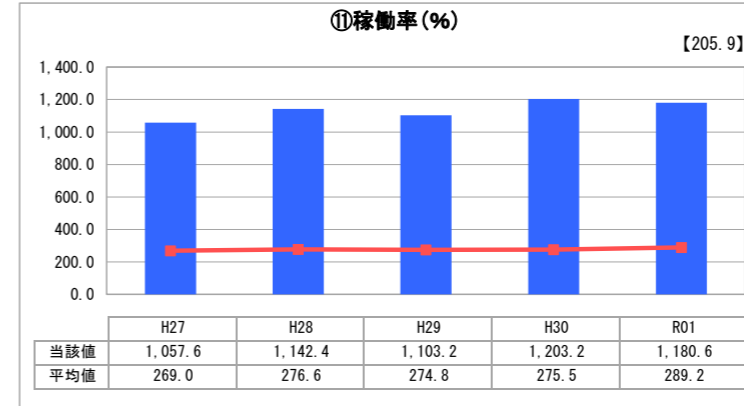
**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

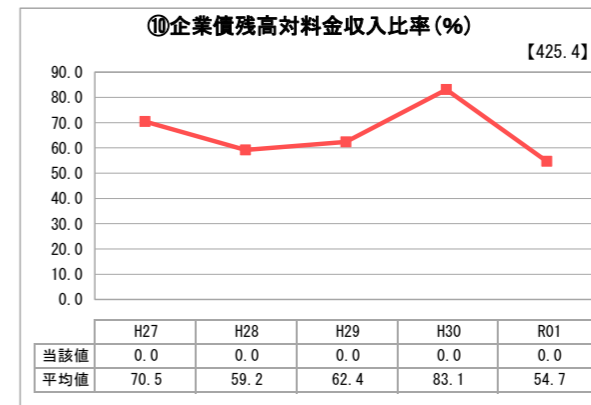


⑦敷地の地価(千円)

34

⑧設備投資見込額(千円)

3,000



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①収益的収支比率は平均値を大きく下回っている。要因としては収入の減少と発券機、精算機の更新を行った影響と考えられる。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率(営業利益)は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は類似施設平均値を大きく下回っている。要因として、(1)収容台数が少ないことにより、料金収入が少ない(2)発券機、精算機の更新を行ったことが挙げられる。

**2. 資産等の状況について**  
 企業債の借入れは行っていない。  
 令和元年度に発券機、精算機の更新を行った。

**3. 利用の状況について**  
 ①稼働率は類似施設と比べ高い水準で推移している。要因として、1時間の無料時間を設けており、駅および周辺施設の短時間利用が挙げられる。  
 利用実態として、日中・夕方に満車状態になることが多く、早朝・夜間は空車が目立つ傾向がある。

**全体総括**  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ね、今後も安定した経営が行えるよう努めていく。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅東第2駐車場

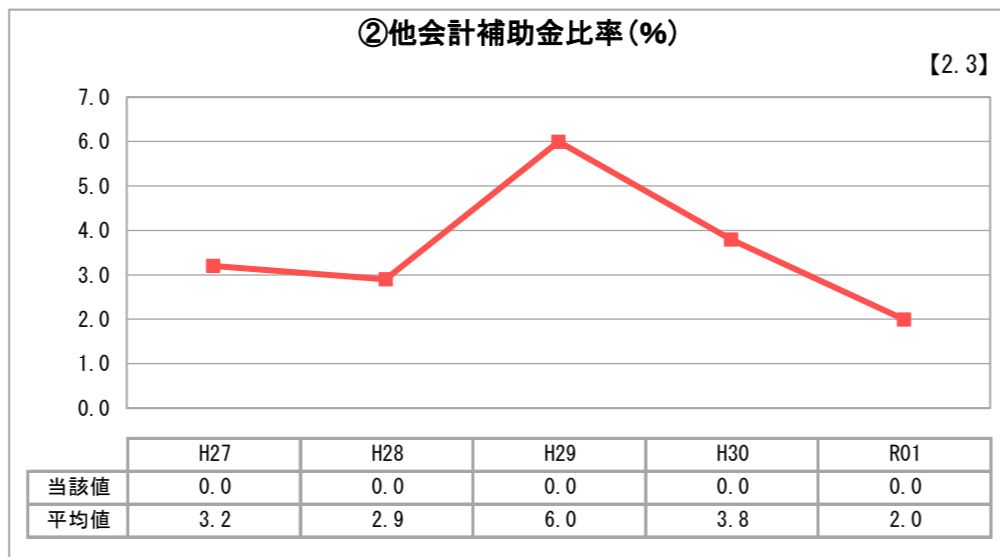
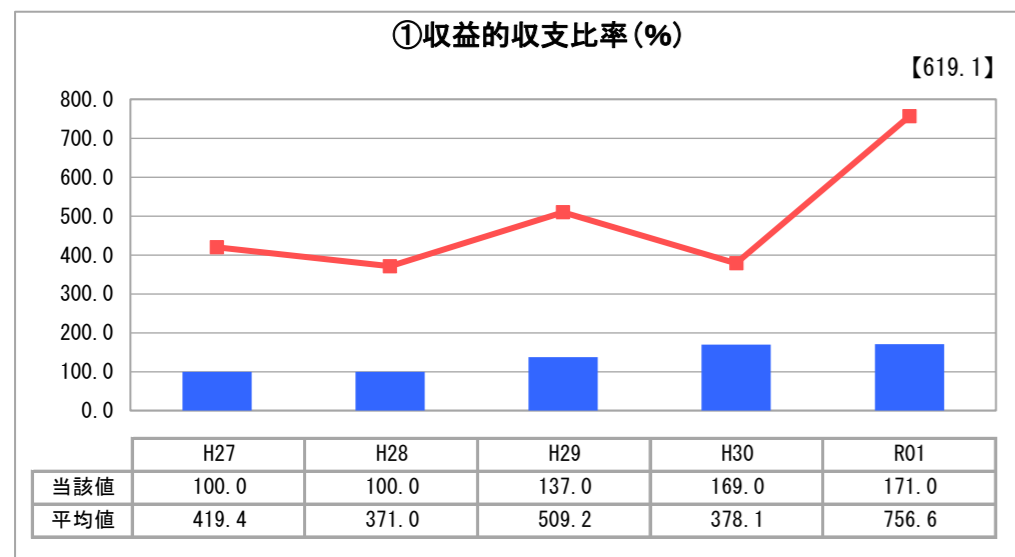
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	20	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	1,764
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
79	300	導入なし

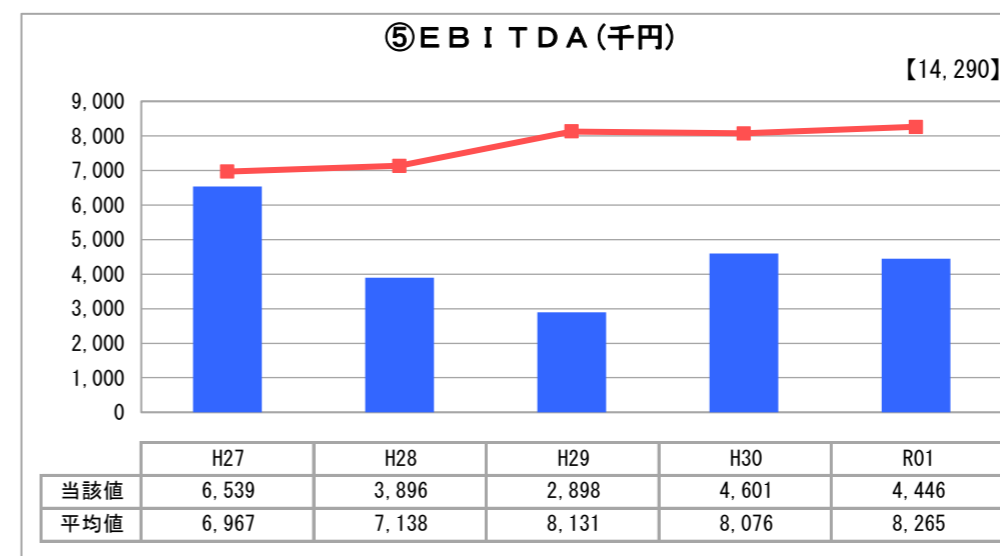
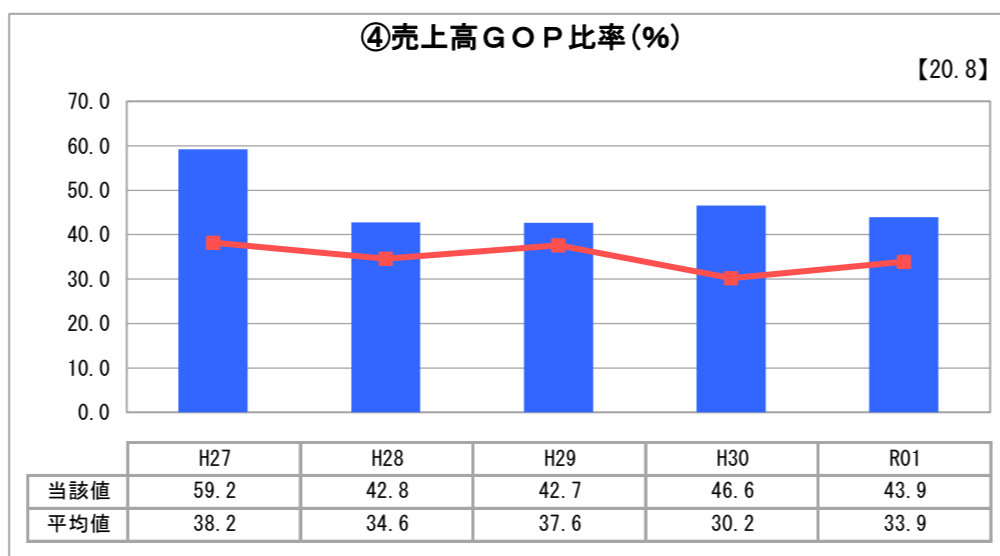
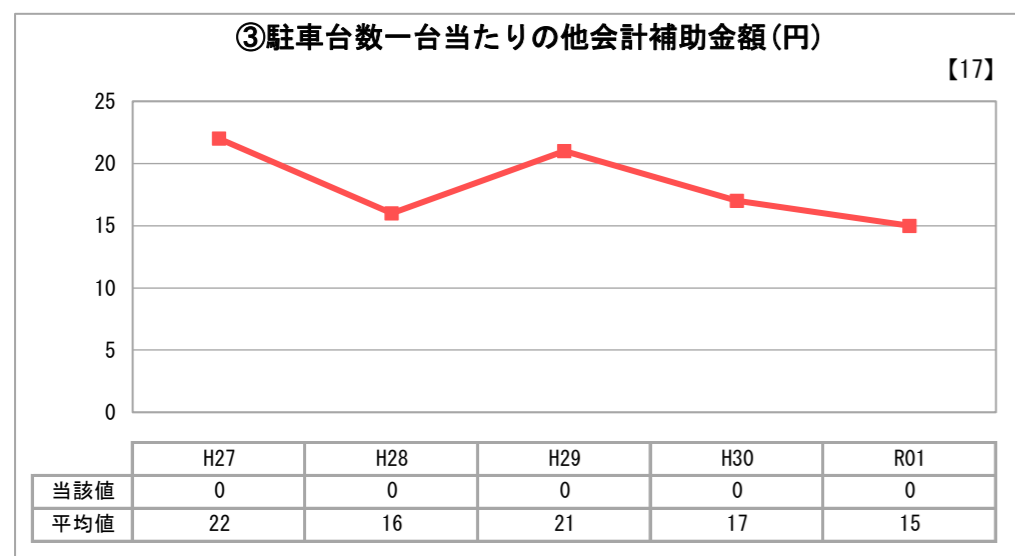
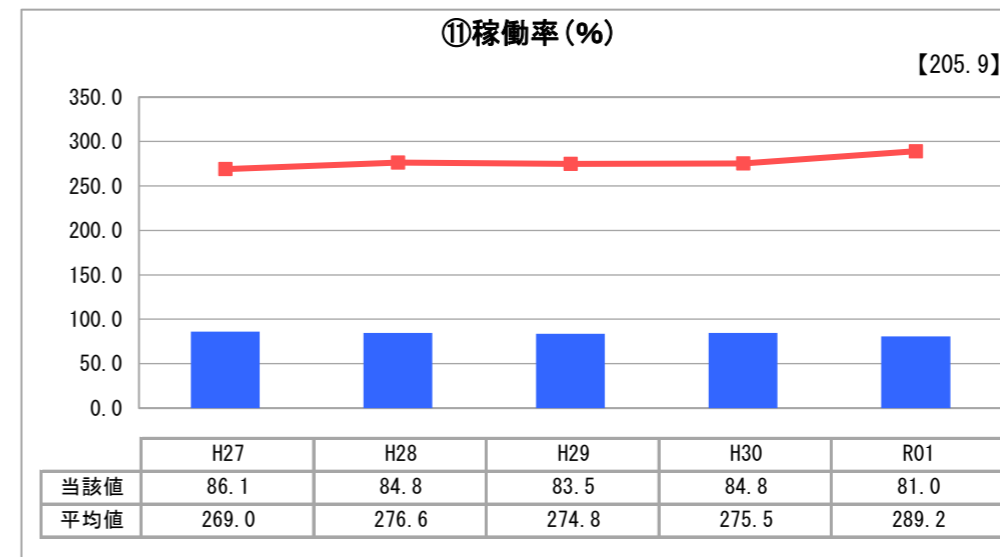
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

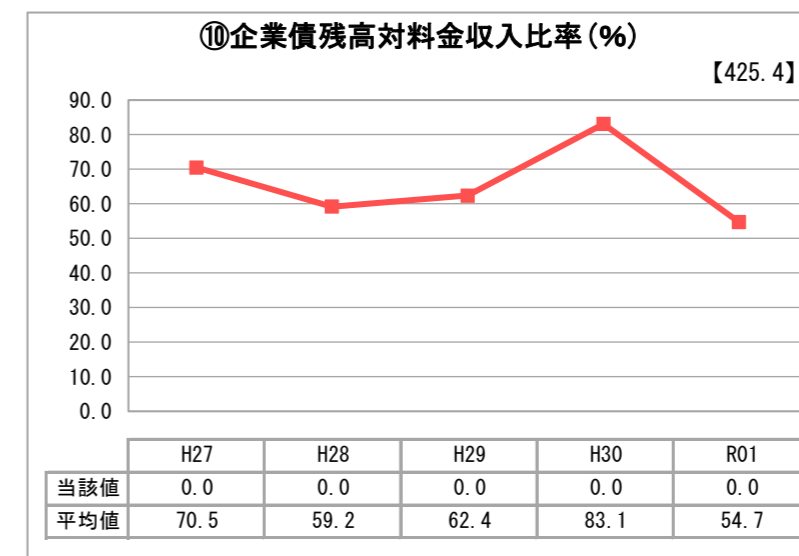


⑦敷地の地価(千円)

29

⑧設備投資見込額(千円)

3,000



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率（営業比率）は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA（減価償却前営業利益）は、類似施設平均値を下回っている。要因としては、（1）駐車場敷地の借地料が高いこと（2）収容台数が少ないことが挙げられる。

2. 資産等の状況について  
 企業債の借入れは行っていない。  
 令和2年度に発券機、精算機、入口表示灯の更新を予定している。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低くなることが要因と思われる。  
 利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中に満車状態になることが多く、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ね、今後も安定した経営が行えるよう努めていく。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅東第3駐車場

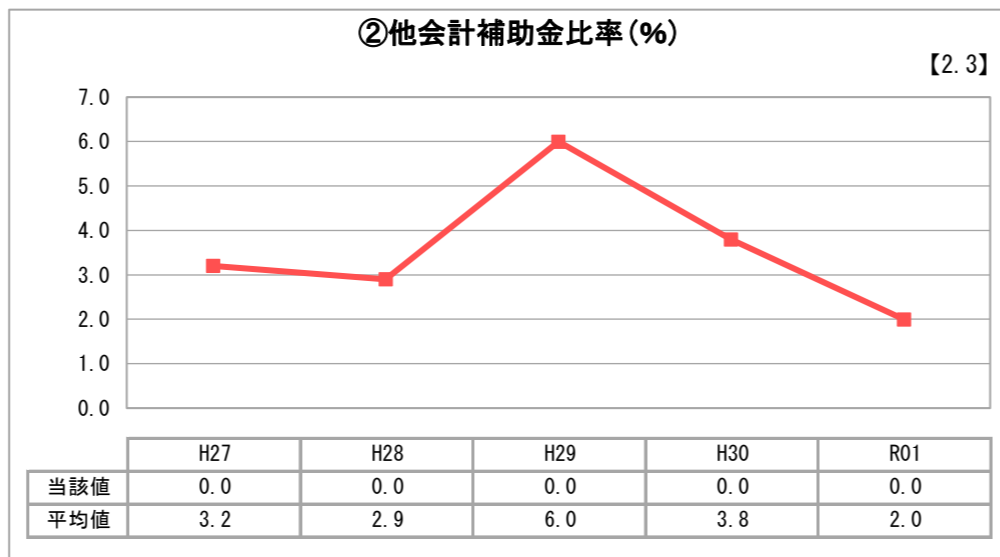
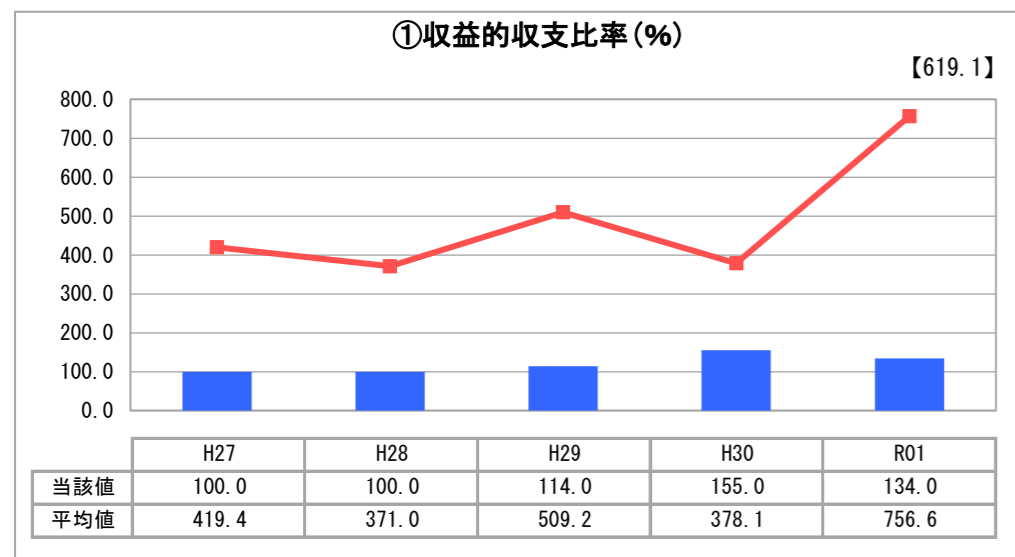
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	16	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	924
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
36	300	導入なし

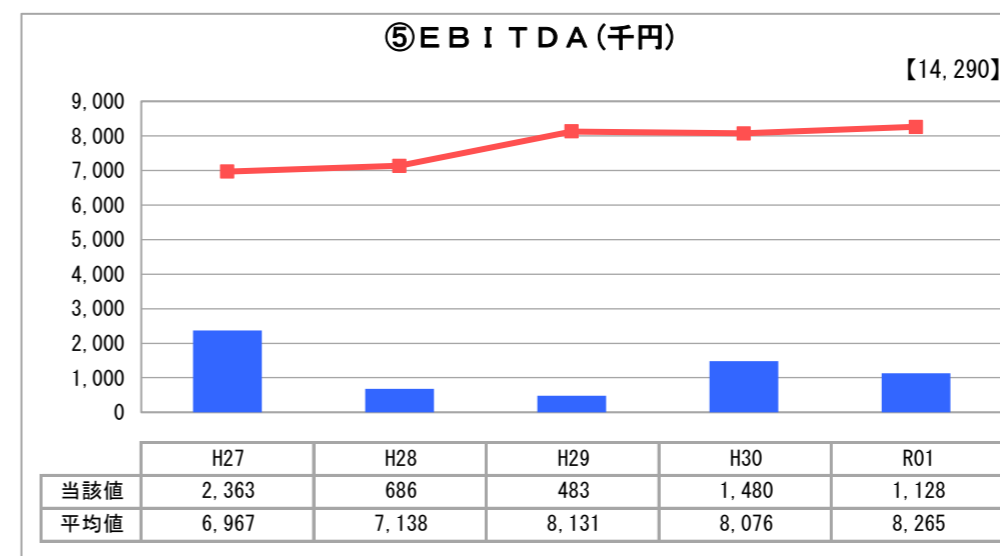
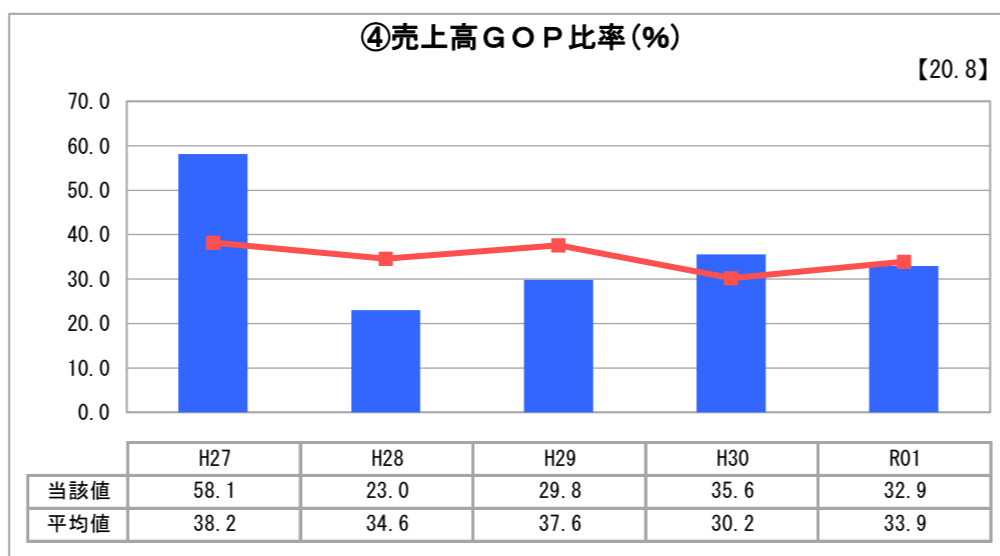
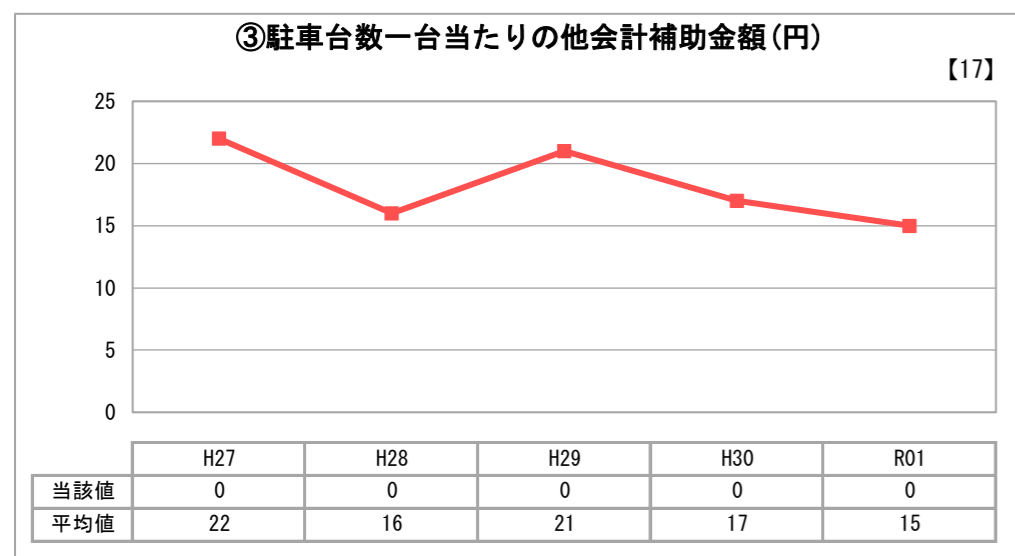
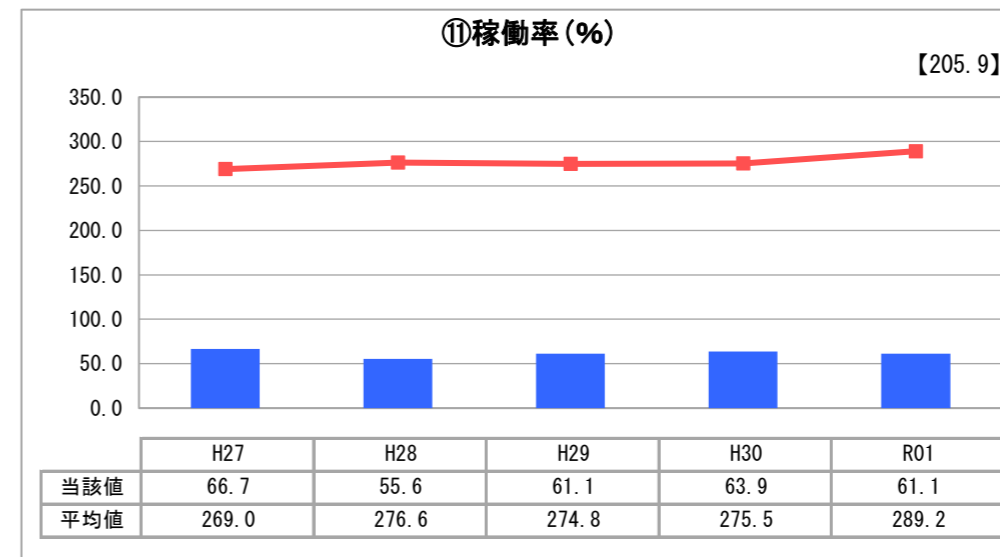
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

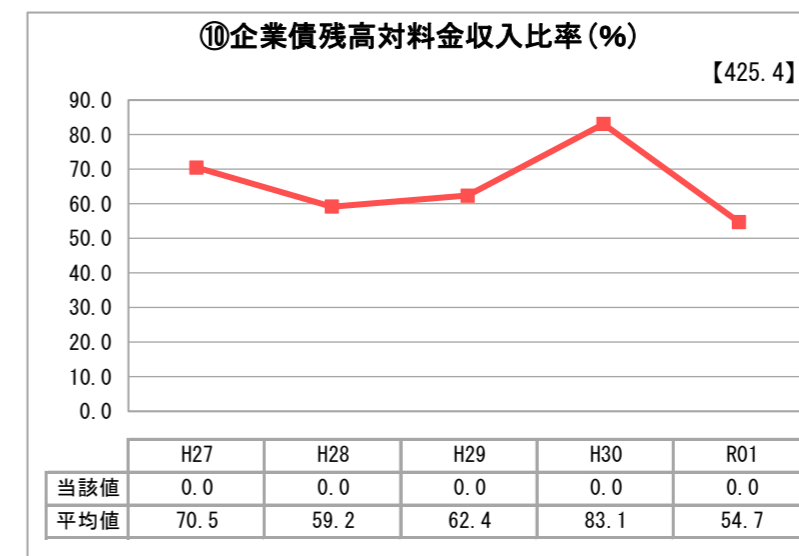


⑦敷地の地価(千円)

25

⑧設備投資見込額(千円)

3,000



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率（営業利益）は概ね類似施設平均値となっており、好調である。  
 ⑤EBITDA（減価償却前営業利益）は、類似施設平均値を下回っている。要因としては、(1) 収容台数が少ないことにより、料金収入が少ない(2) 駐車場の規模に比べ委託料が割高となることが挙げられる。

2. 資産等の状況について  
 企業債の借入れは行っていない。  
 令和2年度に発券機、精算機、入口表示灯の更新を予定している。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低くなることが要因と思われる。  
 利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中に満車状態になることが多く、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ね、今後も安定した経営が行えるよう努めていく。



# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県鯖江市 文化センター前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	16	

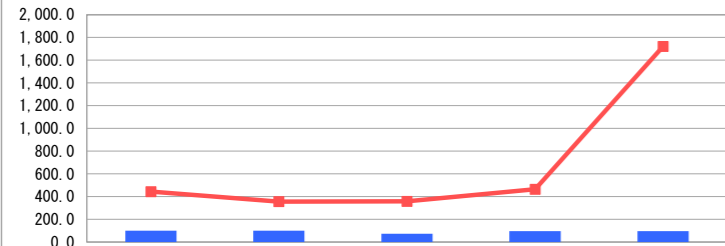
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
公共施設	無	7,953
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
300	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況

①収益的収支比率(%)

【619.1】



②他会計補助金比率(%)

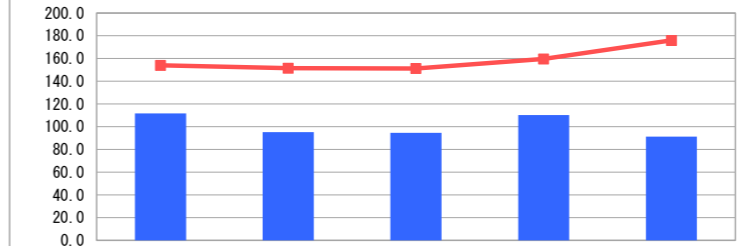
【2.3】



## 3. 利用の状況

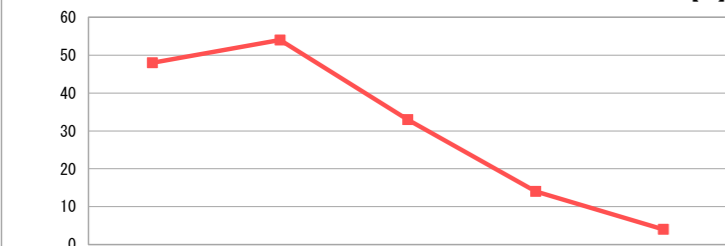
①稼働率(%)

【205.9】



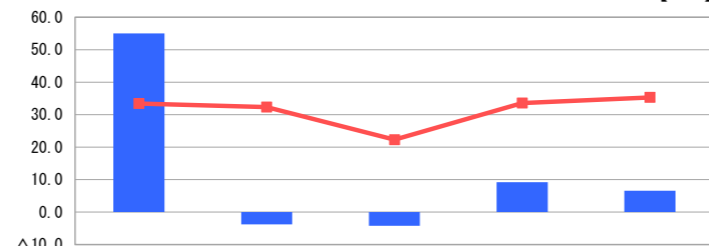
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円)

【17】



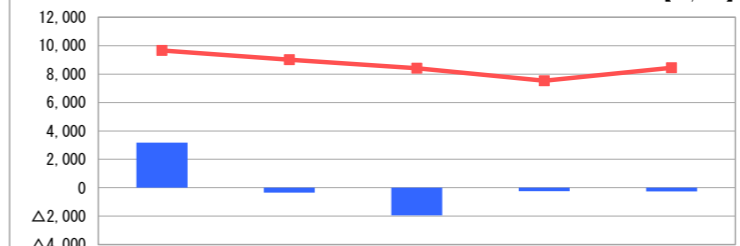
④売上高GOP比率(%)

【20.8】



⑤EBITDA(千円)

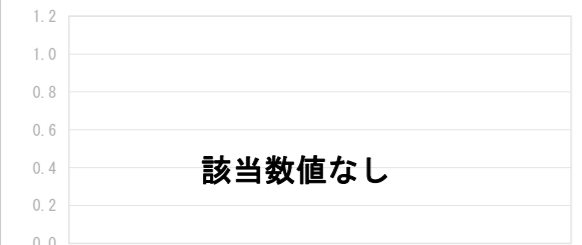
【14,290】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし



⑦敷地の地価(千円)

26

⑧設備投資見込額(千円)

19,018

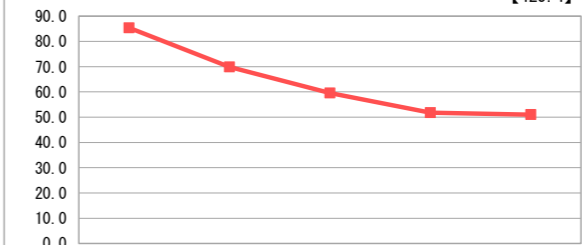
⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率(%)

【425.4】



## 分析欄

### 1. 収益等の状況について

- ①数値は100%を下回り、不足部分を他の駐車場に依存している。
- ②③他会計補助金は受けていない。
- ④売上高GOP比率(営業利益)は、平成28年度に営業費用の算出方法を変更し、営業費用が増加し、マイナスとなった。近年は改善傾向にある。
- ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)も算出方法の変更を行い、マイナスとなっている。要因としては、(1)出入口が3ヶ所あるため、設備の管理費が高いこと(2)4時間の無料時間を設けており、料金収入が低いことが挙げられる。

### 2. 資産等の状況について

- 企業債の借入れは行っていない。
- 現在の設備は平成13年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、設備更新が見込まれる。
- 令和4年度に機器の更新を予定している。

### 3. 利用の状況について

- ①稼働率が低い要因として、(1)総合体育館、陸上競技場、文化施設が隣接し、土日祝日の日中のみ利用が集中するため(2)駅、商店街から遠いため、利用が限られていることが挙げられる。
- 利用実態としては、土日祝日の利用率は高い。平日やイベントのない日などは空車が目立つ傾向がある。

### 全体総括

当駐車場は、総合体育館、陸上競技場、文化施設に隣接する駐車場であり、路上駐車防止や交通渋滞の緩和、イベントの開催など広く市民に利用されている。

今後、機器の更新を予定しているため、管理費の低くなる運営方法を検討するなど、安定した運営を行っていきたい。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県鯖江市 北鯖江駅周辺駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	16	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	3,823
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
159	300	導入なし

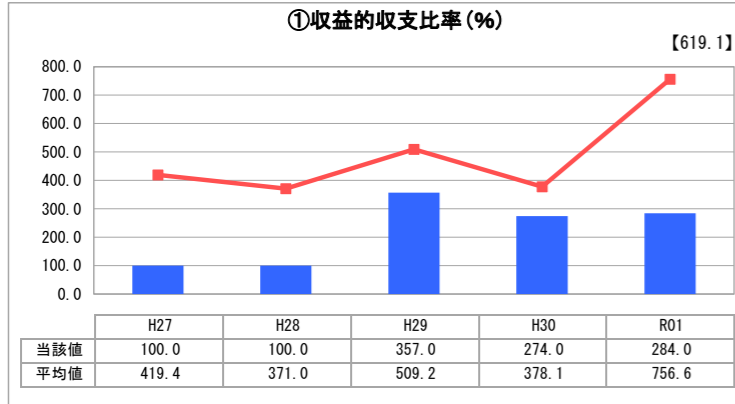
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況

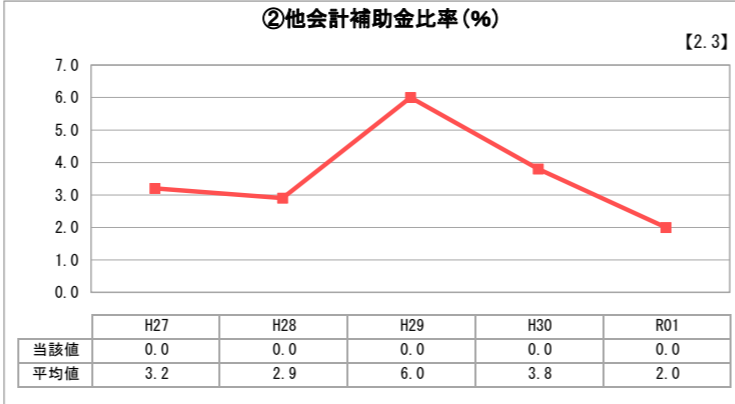
①収益的収支比率(%)

【619.1】



②他会計補助金比率(%)

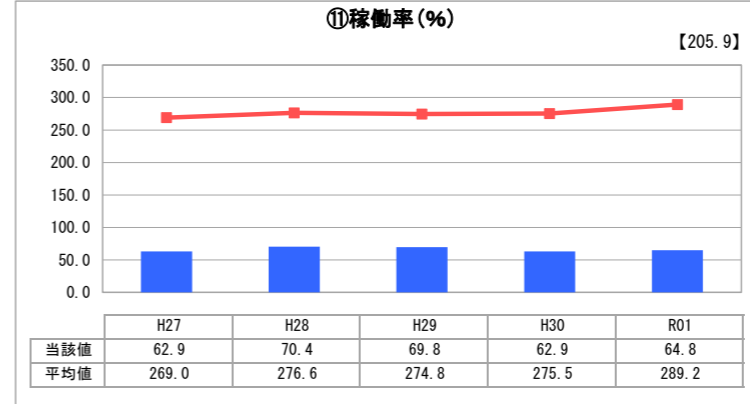
【2.3】



## 3. 利用の状況

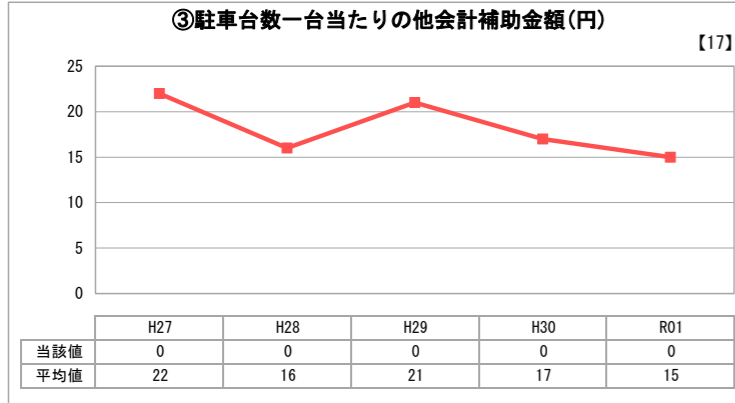
①稼働率(%)

【205.9】



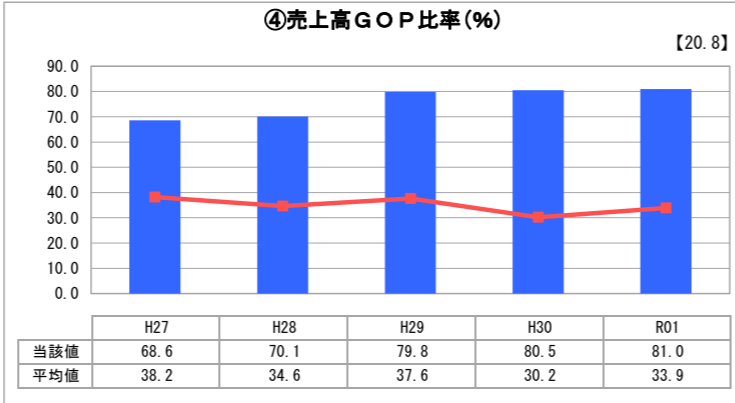
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円)

【17】



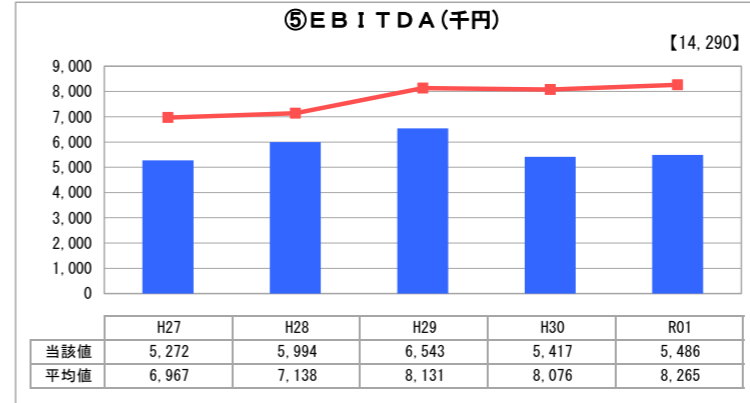
④売上高GOP比率(%)

【20.8】



⑤EBITDA(千円)

【14,290】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし



⑦敷地の地価(千円)

12

12
----

⑧設備投資見込額(千円)

12,000

12,000
--------

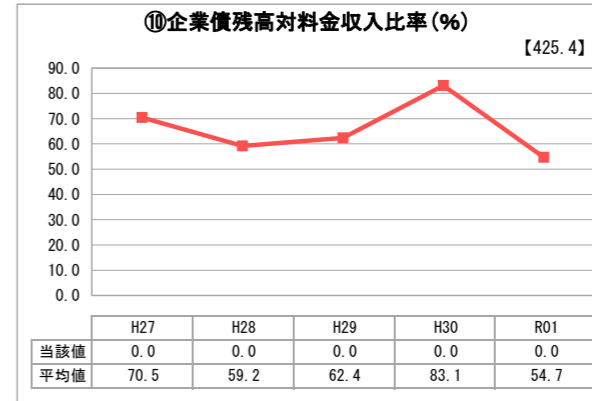
⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率(%)

【425.4】



## 分析欄

### 1. 収益等の状況について

- ①数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。
- ②③他会計補助金は受けていない。
- ④売上高GOP比率（営業利益）は類似施設平均値を上回っており好調である。
- ⑤EBITDA（減価償却前営業利益）が平均値を下回っている要因として、修繕費用の歳出が多いことが挙げられる。

### 2. 資産等の状況について

企業債の借入れは行っていない。  
現在の設備は平成12年に導入しており、機器の不具合が多く、修理部品の納入も難しくなっていることから、令和3年度に機器の更新を予定している。

### 3. 利用の状況について

①稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから滞在時間が長く、回転率が低くなることが要因と思われる。  
利用実態として、駐車場定期券利用者と一般利用者が共通の場所を使用しており、すべてが満車になることはほとんどない。

## 全体総括

経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。現状の稼働率が上がると、定期券利用者が利用できなくなるおそれがあるため、定期券の発行枚数の制限を継続し、歳出減の経営努力を重ねる。また、設備の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。